



ジャーナル問題に関するセミナー

ジャーナル問題をどのように判断するか？ ー学術情報流通とアカデミアの多面的な関係性

2021年 **3月4日(木)** 9:00-10:30

講演 船守 美穂 氏

国立情報学研究所 情報社会相関研究系准教授

Zoomによるオンライン開催

申込フォーム：<https://forms.gle/erZazq6eoMqBJf3G7>

申込期限：2021年3月2日(火)17:00

定員：50名（先着順）

対象：本学教員、関連部局職員



国立情報学研究所 情報社会相関研究系准教授。1991年東京大学理学部地球物理学科卒、1993年同研究科修士課程修了。(株)三菱総合研究所 研究員、文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室調査員、政策研究大学院大学助教授、東京大学の国際連携本部、評価支援室、教育企画室のIR担当特任准教授等を経て、2016年より現職。また2017年からはオープンサイエンス基盤研究センター准教授（政策・連携担当）を務める。同センターウェブサイトにて海外大学事情「mihoチャンネル」を執筆・発信中。<https://rcos.nii.ac.jp/miho/>

9:00- 9:05 開会挨拶 大隅典子 附属図書館長

9:05-10:05 講演

10:05-10:25 質疑応答

10:25-10:30 閉会挨拶 金山喜則 学術情報整備検討委員会委員長

お問い合わせ：附属図書館 情報管理課 雑誌情報係 serials@grp.tohoku.ac.jp

令和3年2月19日

部局長 殿
学内教職員 各位

附属図書館長 大隅 典子

ジャーナル問題に関するセミナーの開催について（ご案内）

平素は、本学の学術情報整備に関し、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年度も、再来年度の学術情報資料選定に関するご審議を開始していただく時期となりました。電子ジャーナル契約における昨今の動きとして、従来型の購読モデルに加え、オープンアクセス出版を重視した契約モデルが出版社側から提案され始め、大手出版社における様々なプランの提案が今後ますます加速されていくことが予想されます。

先般、文部科学省科学技術・学術審議会のジャーナル問題検討部会において、我が国の学術情報流通における課題への対応について審議がなされたところですが、本学としても、良質な学術資料の入手と本学の研究成果の発信について、今後の方向性を探る議論を行う必要があると考えております。

つきましては、標記セミナーを下記のとおりオンライン開催いたしますので、お忙しいこととは存じますが、学内における今後の議論に向けて、ご参加のほどよろしくお願い申し上げます。

記

- 演 題： 「ジャーナル問題をどのように判断するか？」
ー学術情報流通とアカデミアの多面的な関係性」
- 講 師： 船守 美穂 氏 （国立情報学研究所 情報社会相関研究系准教授）
- 開催日時： 令和3年3月4日（木） 9：00 ～ 10：30
- 開催方法： オンライン（Zoom） 事前申込制（50名・先着順）
- お申込先： <https://forms.gle/erZazq6eoMqBJf3G7> （フォームにご記入ください）
- 申込期限： 令和3年3月2日（火） 17：00
- 対 象： 学内教職員
- 予 定： 9：00 開会 （大隅典子 附属図書館長 挨拶）
9：05 講演 （船守美穂 国立情報学研究所准教授）
10：05 質疑応答
10：25 閉会 （金山喜則 学術情報整備検討委員会委員長 挨拶）

【本件に関するお問合せ先】

附属図書館情報管理課 村上 yasuko.murakami.d3@tohoku.ac.jp （内線 92-5918）
同雑誌情報係 藤本 serials@grp.tohoku.ac.jp （内線 92-5927）

参考文献紹介：講師の船守准教授から、関連する文献をご紹介します。

船守先生から：

- ・基本的には講演で説明しますので、事前の内容確認は関心のある方のみで十分です。
- ・概略を掴むには、(1)イントロや(4)プレゼン資料を読んでいただくとよいと思います。
- ・当日の講演は最新の情報を踏まえ、また、「大学がジャーナル問題に組織として判断」することを念頭に構成するため、以下の発表資料とアングルが変わる予定です。
- ・なお、ジャーナル問題は、欧州発「プランS」が2018年後半に発表されてから目まぐるしく変化し、また、近年は研究評価の問題にも深く関係するようになっているため、事態を子細に把握するためには、以下の文献を時系列に上から順番に読むことをお勧めします。

(1) ジャーナル問題への簡単なイントロ（プランS以前の状況）

- ・「学術誌をアカデミアの手に取り戻す」（2018.12）

<https://www.nii.ac.jp/today/82/4.html>

(2) プランS発表後の動き

- ・「プランS改訂 ―日本への影響と対応」（2019.8）

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jkg/69/8/69_390/_pdf/-char/ja

- ・「プランS改訂版発表後の展開 ―日本はプランSに何を学ぶか？」（2020.12）

https://www.nii.ac.jp/TechReports/public_html/20-005J.html

(3) 学術情報流通と研究評価の関係性

- ・「なぜ今、研究評価か？ ―学術情報流通と研究評価の関係性」（2020.11）

https://researchmap.jp/funamori/published_papers/30859177

(4) プレゼン資料

- ・「電子ジャーナル問題 ―今、何に対処すべきなのか？」（2020.2）

<https://researchmap.jp/funamori/presentations/24540374>

- ・「オープンサイエンス時代の研究と評価 ―競争パラダイムから協調パラダイムへ」（2020.11） <https://researchmap.jp/funamori/presentations/30709131>

- ・「中国の研究評価改革の世界への影響は？ ―研究評価と学術情報流通の緊密な関係」（2020.11） <https://researchmap.jp/funamori/presentations/30859094>

(5) 政策文書等

- ・「我が国の学術情報流通における課題への対応について（審議まとめ）」

科学技術・学術審議会情報委員会 ジャーナル問題検討部会（2021.2）

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu29/001/mext_00650.html

- ・「提言 学術情報流通の大変革時代に向けた学術情報環境の再構築と国際競争力強化」
日本学術会議 第三部理工系学協会の活動と学術情報に関する分科会（2020.9）

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-t297-6.pdf>